

温 泉 分 析 表

- 1 温泉分析者
住 所 栃木県那須郡那須町大字湯本字新林 206-201
氏 名 那須温泉開発株式会社 那須事業所
- 2 源泉名及び湧出地
那須温泉(源泉名 山楽 1 号～15 号・八幡混合泉)
湧出地 栃木県那須郡那須町大字大丸地内
- 3 分析者 栃木県薬剤師会検査センター所長 仁木善治
- 4 湧出地における調査及び試験成績
(1)調査及び試験年月日:平成 19 年 11 月 6 日
(2)泉 温 :62.1℃(気温 13.0℃)
(3)湧 出 量:750ℓ/min(自然湧出)
(4)知 覚 的 試 験:ほとんど無色透明及び無味無臭
(5)pH 値:7.10
(6)ラ ド ン 含 有 量:×10⁻¹⁰Cl/kg(ME/kg)
- 5 試験室における試験成績
(1)分析 終 了 年 月 日:平成 19 年 11 月 16 日
(2)知 覚 的 試 験:ほとんど無色透明及び無味無臭
(3)密 度:0.9989g/cm³
(4)pH 値:7.10
(5)蒸 発 残 留 物:681.7mg/kg(110℃)
- 6 試料 1kg 中の成分、分量及び組成
(1)陽イオン

成 分 名	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
水素イオン	0.0	0.00	0.00
リチウムイオン	0.0	0.00	0.00
ナトリウムイオン	62.3	2.71	32.31
カリウムイオン	32.7	0.84	9.99
アンモニウムイオン	0.0	0.00	0.00
カルシウムイオン	62.8	3.13	37.36
マグネシウムイオン	20.1	1.66	19.77
アルミニウムイオン	0.0	0.00	0.00
マンガンイオン	0.8	0.03	0.37
第一鉄イオン	0.4	0.02	0.18
第二鉄イオン	0.0	0.00	0.02
銅イオン	0.0	0.00	0.00
鉛イオン	0.0	0.00	0.00
亜鉛イオン	0.0	0.00	0.00
カドミウムイオン	0.0	0.00	0.00
ストロンチウムイオン	0.0	0.00	0.00
バリウムイオン	0.0	0.00	0.00
クロムイオン	0.0	0.00	0.00
陽イオン計	179.2	8.38	100.0

(2)陰イオン

成 分 名	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
フッ素イオン	0.3	0.02	0.20
塩素イオン	5.0	0.14	1.75
硫酸水素イオン	0.1	0.00	0.02
硫酸物イオン	0.0	0.00	0.00
チオ硫酸水素イオン	0.0	0.00	0.00
チオ硫酸イオン	0.0	0.00	0.00
硫酸水素イオン	0.0	0.00	0.00
硫酸イオン	253.9	5.29	65.49
メタ亜ヒ酸イオン	0.0	0.00	0.00
炭酸水素イオン	160.3	2.63	32.54
炭酸イオン	0.0	0.00	0.00
メタケイ酸水素イオン	0.0	0.00	0.00
メタケイ酸イオン	0.0	0.00	0.00
メタホウ酸イオン	0.0	0.00	0.00
水酸化物イオン	0.0	0.00	0.00
リン酸二水素イオン	0.0	0.00	0.00
リン酸水素イオン	0.0	0.00	0.00
リン酸イオン	0.0	0.00	0.00
ヨウ素イオン	0.0	0.00	0.00
臭素イオン	0.0	0.00	0.00
亜硝酸イオン	0.0	0.00	0.00
硝酸イオン	0.0	0.00	0.00
陰イオン計	419.5	8.07	100.0

(3)遊離成分

非解離成分	ミリグラム	ミリモル
硫酸	0.0	0.00
メタ亜ヒ酸	0.0	0.00
メタケイ酸	234.2	3.00
メタホウ酸	4.3	0.10
リン酸	0.0	0.00
非解離成分計	238.6	3.10

溶存ガス成分	ミリグラム	ミリモル
遊離二酸化炭素	21.4	0.49
遊離硫化水素	0.0	0.00
溶存ガス成分計	21.4	0.49

溶存物質計(ガス性の物を除く) 0.837g/kg

成分総計 0.859g/kg

(4)その他の微量成分

成 分 名	ミリグラム	成 分 名	ミリグラム
総水銀	0.00	鉛イオン	0.00
総ひ素	0.01	カドミウムイオン	0.00
銅イオン	0.00	クロムイオン	0.00

- 7 泉質
- 単純温泉(中性低張性高温泉)

温泉の禁忌症、適応症及び入浴上の注意(参考)

源 泉 名	山楽 1～15 号・八幡源泉混合泉
湧 出 地	栃木県那須郡那須町大字大丸地内
温 泉 分 析 者	那須温泉開発株式会社 那須事業所
泉 質	単純温泉

療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症は次のとおりである。	
禁 忌 症	急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般的に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)
適 応 症	神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔症、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進

- 温泉には複数の成分が含まれており、気象条件、季節要因などによりさまざまな影響を受けるので、常に同じ状態ではありません。
- 高温温泉は、飲用に適する衛生面での管理を行っておりませんので飲まないで下さい。

浴 上 上 の 注 意 事 項	
ア 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を 1 日当たり 1 回程度とすること。その後は 1 日当たり 2～3 回までとすること。	
イ 温泉療養のための必要期間は、おおむね 2～3 週間を適当とすること。	
ウ 温泉療養開始後、おおむね 3 日ないし 1 週間後に湯あたり(湯さわり又は浴場反応)が現れることがある。「湯あたり」の間は入浴回数を減じ又は中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。	
エ 以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。	
(ア)入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは 3 分ないし 10 分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。	
(イ)入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。	
(ウ)入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない(湯ただれを起こしやすい	
人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい。)	
(エ)入浴後は、湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。	
(オ)次の疾患については、原則として高温浴(42℃以上)を禁忌とする。	
①高度の動脈硬化症 ②高血圧症 ③心臓病	
(カ)熱い温泉に急に入ると、めまい等を起こすことがあるので十分注意する。	
(キ)食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。	
(ク)飲酒しての入浴は特に注意する。	

平成 19 年 11 月 16 日

分析機関の名称 社団法人 栃木県薬剤師会

(登録番号 14 栃薬 1 号)

所在地 栃木県宇都宮市緑 5 丁目 1 番 5 号

代表者の氏名 会長 長野順一